

# 「安心」覆す年金カット法案

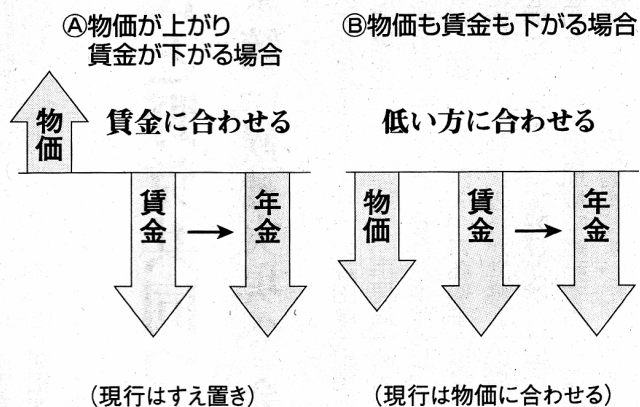
政府・与党が成立させようとしている「年金カット法案」は、『物価が上がっても年金も上がり、少なくともそれまでの生活水準は維持出来る』という安心の仕組みを覆す内容のものです。

厚生年金や国民年金など公的年金の毎年の受給額は、物価と現役労働者の賃金水準にもとづいて決める仕組みです。具体的には、前の年の消費者物価指数の動きや、2～4年度前の実質賃金の変動率などを踏まえて算出しています。そのため物価が上がってもそれに見合っ年金は上がりません。物価が上がっても、賃金の上げ幅がそれより小さいときは賃金の方に合わせて年金額を決めます。物価が上がって賃金がマイナスのときは、年金額は据え置きです。それでも賃金がマイナスのときに年金を下げることは、さすがにしていまませんでした。

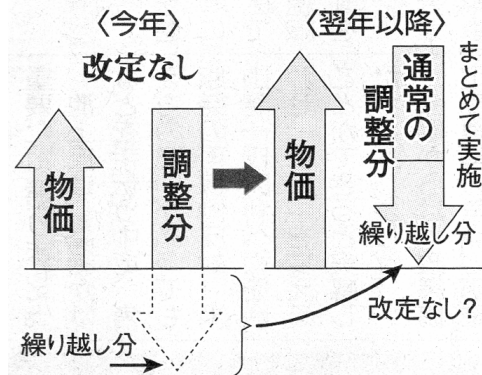
しかし今度の法案は(1)物価は上がっても賃金が下がる(2)物価下落以上に賃金が下がる一場合も賃金下落に合わせて年金を下げるというものです(2021年4月施行)。これでは、いくら物価が上がっても賃金がマイナスになれば年金は減らされてしまいます。

またこの法案にはもう一つの改悪があります。年金を抑制する仕組み「マクロ経済スライド」を強化します。これは、物価・賃金が上がっても、少子高齢化による年金財政への影響分を差し引いて年金ののびを抑える仕組みです。今回の法案ではマイナス改定を実施出来なかった分を翌年の以降に持ち越し、物価や賃金が上がったときにまとめて実施できるようにします。これによって、事実上、物価が上がったときでも、未実施の調整分によって年金が上がらなくなるのです。

## 物価・賃金スライドの改悪(受給者)



## マクロ経済スライドの改悪



# 12月議会の議案の説明が行われました。

一般会計補正予算で提案された主なものです。補正予算は5億6000万円あまりです。

(単位：千円)

- 人事院勧告に基づく人件費の引き上げ 人件費総額：26,877
- 臨時福祉給付金：211,360  
15,000円×13,000人=195,000
- 大洲喜多地域医療ネットワーク基盤整備事業補助金：28,272
- キウイ農家が花粉を自家採取するために  
必要な機器の購入費用の一部を助成するもの  
受益者38戸 4,181,200円×1/3  
およそ1,393,000円
- 市農地流動化奨励金：2,114  
農地の賃借権を設定したものに對し、奨励金を支給する
- 愛媛たいき農協の育苗プラント及び  
温湯消毒装置にかかる経費の一部を助成する  
70,430,000円×3/5 約42,258,000円
- 地籍調査事業費追加：96,874  
菅田 新谷 沖浦3地区
- 山鳥坂ダム地域振興基金積み立て金：128,565  
山鳥坂ダム工事の施工に伴う一次的な行政需要の増大に對して、財政上の負担を軽減するための補償金を原資として、水源地域などの地域振興などをはかるために基金を積み立てる
- 公共下水道事業特別会計繰り出し金：32,986  
肱南浄化センター長寿化事業  
八尾雨水ポンプ場ほか再構築基本設計事業
- 白滝公園展望広場改修工事：8,000  
展望広場は、地面に亀裂が生じ危険であるために、立ち入り禁止となっている。煉り石積み、防護柵などの改修工事をおこなう。